



鹿児島県言語聴覚士会ニュース

巻頭言 鹿児島県言語聴覚士協会 会長 原口 友子

今号目次

巻頭言	1ページ
参加記	2-3ページ
新人紹介	4ページ
事務局通信 動向・依頼 地域局連絡	5-13ページ
社会局(公共 事業・保険) 社会局(広報) 学術局(成人) 連絡	14ページ
学術局(小児) 学術局(新人) 連絡	15ページ
学術局 (生涯学習) 財務局 連絡 編集男誌	16ページ

鹿児島では山桜が満開となり、つくしも伸び、日に日に春らしい陽気となってきましたが、会員の皆さまには新年度を目の前に慌ただしい毎日をお過ごしのことと思います。

まず初めに当県士会の会長交代のご挨拶をさせていただきます。昨年2017年12月5日に池上会長より、職場が県外に移るために会長辞任の届が出されました。辞任の届けを受け、翌日の理事会にて、新代表理事(会長)としてわたくし原口が承認されました。12月7日に法務局に会長変更の旨登記終了しております。力不足ではございますが、皆様のご指導・ご協力をいただきながら精一杯努めてまいります。どうぞよろしくお願いいたします。

今回は昨年開始された「失語症者向け意思疎通支援事業」についてご報告させていただきたいと思います。会員の皆様はよくご存じだと思いますが、失語症の方の生活のしづらさや社会参加制に対する公的な支援はこれまで、障害福祉サービスによる補装具・日常生活用具といった支援機器の給付により対応されてきました。また失語症は身障手帳においても言語機能の全廃で4級、重度障害で3級と障害福祉サービスの受給もままならない現状であり、「意思疎通が困難」などに対して何ら社会的サービスの整備が行われてきませんでした。これまでの現状は私たち言語聴覚士としても社会や行政に対する働きかけが不足していたことを自省する必要があります。しかし、この度ようやく、障害者総合支援法に基づく「失語症者向け意思疎通支援事業」が開始されました。この事業は、地域生活支援事業の都道府県の必須事業として行われるものです。これまで、都道府県が行ってきた、意思疎通支援といえば、聴覚障がい者や視覚障がい者向けのものでした。そのため、県行政としては失語症者の実態把握が全くできていないという現状です。2017年度に厚労省が指導者養成研修を日本言語聴覚士協会の協力のもと開始し、当県士会からも1名この研修を受け講師として認定されました。厚労省の本事業の工程表としては2018年度から都道府県の必須事業として、指導者養成研修を受講したSTが中心となり、各地で失語症者向け意思疎通支援を行う人材の養成を開始する予定となっています。鹿児島県の行政としては先に述べた通りの現状ですので、意思疎通支援者の養成は早くとも2020年度の開始となる見込みとのことです。この事業に鹿児島県言語聴覚士会として、会員の皆様のご協力をいただきながら県行政と連携を図り積極的に役割を果たしていきたいと考えています。

最後に、2018年度は「第7次 医療計画」、「第7期 介護保険事業計画」がスタートし、「診療報酬と介護報酬の改定」が行われます。2040年には団塊の世代が85歳となる多死社会となります。このような将来予測の中で、厚労省の「地域共生社会(対象は高齢者のみでなく、子ども(子育て)、障がい者)の実現のため、私たち言語聴覚士もリハビリテーション専門職の一員として地域における活動の幅が広がっています。

一人ひとりのSTが地域での多職種・住民との協働に努めていく必要があります。私たちSTの専門性を遺憾なく発揮していきましょう



第7回日本言語聴覚士協会 九州地区学術集会 沖縄大会 参加記

みなさんこんにちは。日に日に春めいてきていますがいかがお過ごしでしょうか。

さて、平成30年1月27日28日に那覇市にて開催されました第7回日本言語聴覚士協会九州地区学術集会沖縄大会に参加しましたので、大会の内容+αを報告させていただきます。

大会テーマは～地域で創る"ゆい"まーる～

今回の大会テーマの「ゆいまーる」。これは沖縄の方言で結ぶ（共に、協働）という意味があるとのこと。この大会テーマの如く、シンポジウムでは「沖縄県の地域包括ケアシステムの現状と発展-STに求めること-」と題して、様々な内容がディスカッションされました。特に協会副会長の内山量史先生が話された「地域包括ケア時代に我々が果たす役割について」は、非常に興味深いものでした。平成30年度の介護・診療報酬の同時改定および第7次医療計画・第7次期介護保険事業・第3次医療費適正化経過を基に、国が求める専門職の支援体制とともに、それから予想されるSTの果たす役割を詳しく説明されました。また協会会長の深浦順一先生により基調講演「日本における言語聴覚士の歩みと今後の展望」では、STの歴史とともに、これから活躍するST像についての話がありました。

「地域へ」という流れの中、我々の目前にいる対象者だけでなく、地域の中で専門職として何ができるのか再考できる良い機会となりました。

鹿児島からも多くの演題発表

沖縄大会では56の演題があり、鹿児島県からも6演題の発表がありました。日々の臨床の疑問点や成果等を発表されていました。会場では緊張感がある中でも堂々と発表されている姿を拝見でき、私も非常に刺激を受けました。発表をされた皆さんお疲れ様でした！



懇親会では沖縄舞踊

大会初日が終わった後は参加者や講師の方々とともに懇親会が開かれました。九州各県のSTと話すことができる良い機会となりました。美味しい食事やお酒も入り、大いに盛り上がりました。また会の中では、日頃目にするのでできない沖縄舞踊を見る？踊る？ことができ、楽しいひと時を過ごすことができました。

大会の夜はまだ終わらない

懇親会が終わっても、各県の希望者で二次会？が開かれました。もっとDeepな話ことができました（笑）。

次回は佐賀大会

さて、次回は佐賀大会です。会期は平成31年1月19日から20日。佐賀県男女共同参画センター佐賀県立生涯学習センターアバンセで開催されます。テーマは「輪～つながり～」。ST間の繋がり、多職種との繋がりがキーワードのようですね。

おわりに

沖縄大会では非常に充実した時間を過ごすことができました。他県で鹿児島県内のSTとお会いし、そのSTが発表している姿をみるのは非常に刺激を受けるのでもありますし、他県のSTの動向を知る良い機会となります。発表される方々は非常に若く、会全体がヴァイタリティーに満ちていました。また懇親会では学術的な話だけでなく、多くのSTと繋がりができる良い機会となります。

次は佐賀県。また参加したいと思います。

鹿児島医療技術専門学校
松尾康弘



新人紹介①

霧島杉安病院 木佐貫 太陽

私は平成29年3月に鹿児島第一医療リハビリ専門学校を卒業し、現在霧島杉安病院に勤務しております。言語療法では、主に脳血管障害の患者様に対して急性期から回復期、維持期におけるリハビリテーションに携わっています。入職当初は、自分の考え方の浅さや未熟さに悩みました。毎日の臨床で感じた疑問を、解決しないまま患者様に向き合うことに抵抗を感じる日々が続きました。自分で納得いく答えを見つけられないときは、院内外のSTの先輩方に多くのアドバイスやヒントを頂きました。評価や治療プログラムの見直し、教示や導入の工夫、触り方を変えてみるなど、試行錯誤し悩み続け、あっという間に1年が過ぎたように感じます。この1年間で出会い、様々な形で見送った患者様ひとりひとりに、本当に多くのことを学ばせて頂いたと思います。STとしての道のりはまだ始まったばかりですが、学ぶべきことは広く、非常に深いと感じております。現在では、患者様やご家族の一生に関わる責任の重さをより一層強く感じるようになりました。広い視野を持ち、様々な選択肢を考え提示できるセラピストを目標に、今後も疑問と真摯に向き合い、日々成長していきたいと考えております。今後ともご指導ご鞭撻の程何卒宜しくお願い致します。

新人紹介②

大勝病院 古川 莉子

私は平成29年3月に鹿児島医療技術専門学校を卒業し、現在、医療法人三州会大勝病院で言語聴覚士として勤務しております。また、同時に鹿児島大学大学院保健学研究科に入学致しました。大勝病院は神経内科・リハビリテーション科があり、病床数は一般病棟93床・療養病棟167床(回復期 リハビリテーション病床60床)の計260床となっています。リハビリテーション科にはST10名のほか、PT55名、OT22名が在籍しております。当院は神経内科・リハビリテーションの専門病院として開院し、様々な神経疾患へのリハビリテーションによるアプローチが特徴の一つです。日々、脳卒中・廃用症候群などの急性期から維持期の多くの患者様のリハビリテーションに携わっております。臨床の現場は日々、自分の経験にはない事で溢れており不安で一杯でした。しかし、先輩方や母校の先生方の丁寧なご指導により、少しずつ職場と業務を把握し、毎日、充実した日々を過ごしております。また、入職し衝撃だった事として、初めて”チーム医療”の当事者となったことで、他部門の問題の受け取り方や見方、アプローチ法などを知れたことです。すべてが新鮮で自分自身の視野の広がりを感じております。多くの先輩方が在籍し、様々な患者様と向き合っているこの環境だからこそ積極的に学び、吸収し、自身のものにしていきたいと考えております。また、業務後は大学にて学ばせて頂いております。臨床・進学と新しく始まるふたつのことに戸惑い、悩む事もあるだろうと恐れていましたが、何よりも”知りたい”という気持ちがそれを上回りました。大学では英語論文の抄読や論文内容を臨床に結び付けたディスカッション、研究を行う上で必要な知識習得などの専門的な講義から、解剖学・病理学などの基礎となる知識を最前線で活躍されている先生方から教わっております。このように様々な方と関わることが出来ていることにより、自分の”知らない”を知り、勉強することが出来ている事は周囲の方々のご支援の賜物であると感じております。早いもので入職して1年が経とうとしております。今年の目標は、言語聴覚士として患者様のリハビリに関わらせていただく事に自覚を持ち、広い視野での確な対応が出来るよう精進することです。また、今後も先輩方にはご相談させていただくことも多々あると思いますが、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いたします。

事務局通信

■会員動向

平成29年以降、平成30年2月28日(理事会承認まで)

総会員数 472名:正会員 470名 賛助会員 2名(平成30年2月28日理事会承認まで)

<入会者>

岸田 萌 (加世田病院)

永松 佳子 (こどもクリニック永松)

福永 菜穂子 (医療法人三州会大勝病院)

今村 沙弥香 (医療法人厚生会小原病院)

穴井 三鈴 (医療法人玉水会玉水会病院)

佐多 祐紀 (田上記念病院)

上迫 可怜 (社会医療法人緑泉会リハビリテーション病院米盛)

吉田 健司 (霧島記念病院)

上村 沙季 (社会福祉法人向陽会やまびこ医療福祉センター)

出来 暢孝 (社会医療法人聖医会サザン・リージョン病院)

松元 理恵 (リハシップあい西出水)

高橋 祐子 (種子島医療センター)

木佐貫 太陽 (霧島杉安病院)

森田 竜太 (クオラリハビリテーション病院)

和田 楓貴 (種子島医療センター)

山田 佳那 (南鹿児島さくら病院)

福田 涼 (加治木温泉病院)

馬場 将 (加治木温泉病院)

田中 歩椎 (医療法人有隣会 伊敷病院)

村田 歩乃佳 (霧島市医師会医療センター)

河野 歩美 (医療法人慈風会 厚地リハビリテーション病院)

興梠 夢 (クオラリハビリテーション病院)

東福 翔蘭 (いちき串木野市医師会立脳神経外科センター)

上村 瑞稀 (肝属郡医師会立病院)

福重 夏輝 (医療法人三州会 大勝病院)

野口 瑛子 (鹿児島徳洲会病院)

中野 桜子 (今給黎総合病院)

村田 健人 (医療法人健康会 霧島記念病院)

森山 粹華 (社会医療法人青雲会 青雲会病院)

鮫島 由佳 (医療法人慈風会 厚地脳神経外科病院)

南真 太郎 (社会医療法人昂和会 内山病院)

上小園 晶 (社会医療法人青雲会 青雲会病院)

上野 正翔 (社会福祉法人向陽会 やまびこ医療福祉センター)

田中 さつき (クオラリハビリテーション病院あいら)

山澤 佑輔 (クオラリハビリテーション病院)

有野 郁治 (子ども発達相談センター にじいろ)

未廣 豊 (いそわき歯科)

中川路 郁美 (医療法人浩然会 指宿浩然会病院)

古川 莉子 (医療法人三州会 大勝病院)

福永 のぞみ (中江病院)

■ 続 会員動向

<入会>

村川 絵梨香 (医療法人明生会 今林整形外科病院)
濱田 幸 (出水総合医療センター)
永溝 桃花 (リハシップあい 西出水)
園田 凜太郎 (医療法人 敬親会 豊島病院)
福永 のぞみ (伊敷病院)
新川 紗希 (特定非営利活動法人tali 療育の家ひまわり)
大田 優依 (市比野記念病院)
稲津 宏紀 (奄美中央病院)
稲津 久美子 (奄美市役所 高齢者福祉課)
幸山 美奈子 (沖永良部徳洲会病院)

<会員区分変更>

吉森 健 賛助会員→正会員(鹿児島第一医療リハビリ専門学校→南九州病院)

<所属変更>

馬場園 直美(スイートケアなかよし→株式会社アプリシエイト)
原 有希(霧島杉安病院→加治木温泉病院)
中野 叶子(希望ヶ丘病院→林内科胃腸科病院)
宮脇 一昭(南鹿児島さくら病院→千年メディカルタウン)
加統 彩(クオラリハビリテーション病院→いじゅういん脳神経外科)
瑞穂 哲也(今林整形外科病院→鹿児島医師会病院)
永山 理香(ひまわり病院→無所属)
有川 佳郎(市比野記念病院→デイサービスおたふく郡元)
岡井 貴宏(厚地脳神経外科病院→特定非営利活動法人サポートロコペリ)
酒向 大貴(八反丸病院→こども発達相談センターにじいろ)
河野 真紀(清水内科→鹿児島第一医療リハビリ専門学校)
内田 匡信(吉井中央病院→ライフハーバいちき)
下嶋 早苗(ひさまつクリニック→小田代病院)
加藤 まみ(鹿児島大学病院→無所属)
福山 彩子(無所属→希望ヶ丘病院)
外薮 麻悠(希望ヶ丘病院→きりしま子供発達支援センター)
丸山 由紀(豊島病院→森園病院)
水溜 善紀(内山病院→今給黎総合病院)
今村 美穂(今林整形外科病院→指宿さがら病院)
藏岡 紀子(パールランド病院→株式会社ユニティ)
杉元 雪絵(無所属→有馬病院)
上林山 隆之(霧島記念病院→オレンジ学園)
小原 都(指宿温泉病院→指宿温泉ケアサポート)
太田 和彦(クオラリハビリテーション病院→平和会ひさまつクリニック)
久保田 空(川内市医師会立市民病院→かかりつけ言語聴覚士 そらまめ)
岩元 愛美(鹿屋医療センター→霧島記念病院)

<休会解除>

杉元 雪絵(無所属)

<改姓>

北村 史香(垂水中央病院)→荒木 史香

宇治野 未来(地域医療福祉ステーション ひまわり病院)→中瀬 未来

谷内 まみ(無所属)→加藤 まみ

永山 由紀(森園病院)→丸山 由紀

塚本 真知子(霧島杉安病院)→喜多 真知子

鮎川 絵里(小原病院)→前山 絵里

窪田 幸(垂水中央病院)→竹添 幸

潟村 美智代(内山病院)→永田 美智代

坂本 文(やまびこ医療福祉センター)→橋口 文

<退会>

若松 亜由美(大勝病院 H29年3月31日付)

尾形 春菜(クオラリハビリテーション病院 H29年3月31日付)

精松 亜光(霧島記念病院 平成29年5月31日付)

三浦 尚子(鹿児島大学病院 H29年6月19日付)

永田 梨乃(博悠会温泉病院 H29年7月31日付)

外山 慶一(潤和会記念病院平成29年3月30日付)

(退会時所属:霧島リハビリテーションセンター)

古川 勝幸(青雲会病院 2年未納により)

太田 佳菜(無所属 2年未納により)

今村 早希(サザン・リージョン病院 H29年12月31日付)

瀧脇 奈々(出水郡医師会立第二病院)

出来 暢孝(サザンリージョン病院)

内野 乃里子(無所属)

<施設名変更>

なし

<新設>

千年メディカルタウン

〒890-0001鹿児島市千年2丁目11番14号 TEL:099-294-9199 FAX:099-294-9198

子供クリニック永松

〒899-0217出水市平和町25-2 TEL:0996-64-1500(内線20) FAX:0996-64-1501

林内科胃腸科病院

〒890-0045鹿児島市武2丁目33番8号 TEL:099-257-6969 FAX:099-254-4757

加世田病院

〒897-1121南さつま市加世田唐仁原1181 TEL:0993-53-6300 FAX:0993-53-6302

株式会社アプリシエト

〒890-0031鹿児島市武岡1丁目113-30 TEL:099-296-9852 FAX:099-296-9858

特定非営利活動法人サポートロコペリ

〒899-5241 始良市加治木町木田 580 TEL:0995-71-0840 FAX:0995-735065

デイサービスおたふく郡元

〒890-0065 鹿児島市郡元1丁目15-5 井手ビル TEL:099-297-4433 FAX:099-297-4432

ライフハーバーいちき

〒891-2103 いちき串木野市大里2901-2 TEL:0996-36-5353 FAX:0996-36-5352

小田代病院

〒890-0054 鹿児島市荒田1丁目25-6 TEL:099-253-8111 FAX:099-253-8140

伊敷病院

〒890-0005 鹿児島市下伊敷2丁目4-15 TEL:099-220-4645 FAX:099-220-4648

株式会社ユニティ

〒899-4332 霧島市国分中央4丁目12-22 TEL:0995-73-3531 FAX:0995-73-3382

奄美市役所 高齢者福祉課

〒894-8555 奄美市名瀬幸町25-8 TEL:0997-52-1111 FAX:0997-57-6252

指宿温泉ケアサポート

〒891-0311 指宿市西方1050番地 TEL:0993-25-3653 FAX:0993-25-5393

かかりつけ言語聴覚士 そらまめ

〒895-0041 薩摩川内市隈之城町1475-9 TEL:090-1166-9068 FAX:0996-48-9110

動向・依頼

動向・依頼 平成29年4月～平成30年2月理事会分

- 3月30日 鹿児島県介護実習・普及センターより平成29年度「地域医療介護総合確保基金」活用による「ふれあい・いきいきサロン」介護教室派遣事業実施に伴う講師派遣依頼あり
- 4月 3日 鹿児島第一医療リハビリ専門学校より入学式の案内あり→祝電
- 4月 5日 鹿児島県PT・OT・ST連絡協議会総会→参加(池上・染川・田場・原口)
- 4月 5日 指宿市より発達相談会への講師派遣依頼あり(平成29年10月5日・平成30年2月1日)→受理(菊野病院)
- 4月 6日 南九州病院より緩和ケアフォーラムの案内あり→広報へ
- 4月14日 日本ST協会よりJIMTEF災害医療研修ベーシックコースの案内あり→離島STに相談
- 4月18日 南日本ライフより講師派遣依頼あり→受理(田場)
- 4月28日 熊本県理学療法士協会よりホームページ掲載依頼書の送付あり→広報へ
- 5月 2日 (一般)PT・OT・ST連絡協議会より会費負担納入(86,800円)依頼あり→受理
- 5月15日 介護実習・普及センターより「ふれあい・いきいきサロン」への派遣講師推薦依頼あり→社会局対応
- 6月16日 鹿児島市市民健康まつり実行委員会より協力依頼→受理(鹿児島地区)

- 6月19日 平成30年度地域医療介護総合確保基金に関わる事業(介護分)の提案について(依頼)→受理
- 6月23日 鹿児島大学大学院医科学総合研究科長より修士課程の学生募集ポスター・説明会の案内あり(依頼)→広報へ
- 6月26日 指宿市を通して、慈光保育園(指宿市山川)より講演会講師(ことばの発達)の派遣依頼あり→受理
- 6月26日 京都大学こころの未来研究センターより医療および教育専門職のためのこころ塾の案内送付→広報へ
- 7月19日 国立障害者リハビリテーションセンターより言語聴覚士研修会の案内あり→広報へ
- 7月25日 (一社)鹿児島県介護福祉士会より、第21回介護福祉士会九州ブロック大会inかごしま開催にかかわる名義後援依頼・協賛広告のお願いあり→承諾
- 7月27日 (一社)東京都言語聴覚士会より設立記念祝賀会の案内あり→欠席・祝電
- 7月31日 鹿児島県保健福祉部障害福祉課地域生活支援係より「失語症者向け意思疎通支援者指導者養成研修」来年度の新規事業として予算を検討する旨連絡あり→要望書・積算書(経費)の提出済み
- 8月10日 「第13回鹿児島県摂食嚥下リハビリテーション研究会(10月21日)後援依頼あり→承諾
- 8月18日 鹿児島県保健福祉部保健福祉課より「障害がある人もない人も共に生きる鹿児島づくり条例」に係るアンケート送付あり→受理
- 8月18日 日本ST協会より発達障害者支援地域協議会および放課後等デイサービスに関する業務実態調査依頼あり→会員協力
- 8月18日 日本ST協会より、厚生労働省からの避難行動要支援者向けのリーフレットの活用について、周知依頼についてメールあり→地域局・広報へ
- 8月21日 日本ST協会より、平成29年度秋期都道府県士会会長会議(11月11日)の案内あり→参加(原口)
- 8月21日 日本ST協会より、第3回実務者講習会「在宅における言語聴覚療法」の周知依頼あり→広報へ
- 8月22日 「ALS患者に対するコミュニケーション機器導入支援体制の検証に関する研究」班より「神経疾患患者に対するコミュニケーション機器導入支援ガイドブック～ALSを中心とした支援にかかわる医療職のための基礎知識～」の発送について冊子・リーフレットの送付・連絡あり(<http://rel.chubu-gu.ac.jp/ea-research/>からダウンロード可能)
- 8月28日 鹿児島読売新聞広告社より、鹿児島聾学校の「全国高等学校ロボット競技会」への県代表出場に伴う祝賀広告の案内あり→承諾(3万円枠)
- 8月30日 岩手県盛岡市失語症デイサービス言葉の架け橋の佐藤誠一(言語聴覚士)氏より11月4日(土)に岩手県盛岡市で開催される失語症全国大会インいわての周知についての相談メールあり。→受理
- 9月5日 沖縄県言語聴覚士会より九州地区学術集会沖縄の開催案内・演題募集あり。→広報へ
- 9月13日 日本ST協会より「介護予防・地域支援事業に関する講習会」の周知依頼あり→広報へ
- 9月14日 鹿児島県保健福祉部介護福祉課より「介護ふれあいフェスタ2017」の共催依頼あり→承諾
- 9月20日 日本ST協会より、ICFに関するアンケートへの協力依頼。→メーリングリストで案内意思疎通支援指導者養成研修会の案内(県から代表1名)→受理(原口)
- 10月1日 日本失語症協議会(旧全国失語症昌友の会連合会)より賛助会員加入のお願いあり→県士会で加入する
- 10月2日 鹿児島県介護福祉課より介護ふれあいフェスタの案内あり→広報へ
- 10月6日 鹿児島県医師連盟より「医療関連団体総決起集会」への参加依頼あり→参加(田場、下舞、西野、原口)
- 10月11日 日本ST協会より介護の現場をまもるための署名用紙送付あり→会員協力依頼
- 11月6日 第7回九州地区学術集会沖縄大会より、代表者会参加依頼→参加(原口、田場、松尾)
- 11月11日 日本言語聴覚士協会秋期都道府県士会会長会議→参加(原口)
- 11月14日 鹿児島県障害福祉課にて失語症者意思疎通支援者養成事業について意見交換→出席(原口)

- 11月20日 鹿児島県医師会より鹿児島県医療推進協議会への出席依頼あり→参加(原口)
- 11月22日 鹿児島県診療放射線技師会70周年記念式典・祝賀会案内あり→参加(原口)
- 12月4日 第7回日本言語聴覚士協会九州地区学術集会沖縄大会における資料展示以来あり→以前作成したポスターを展示することする
- 12月5日 鹿児島県PT・OT・ST連絡協議会三役会議→出席(原口、染川、田場)
- 12月25日 鹿児島県歯科医師会より第7回口腔機能管理推進協議会への出會・活動報告の依頼あり→作成(竹中)出席(原口)
- 12月25日 福岡言友会より「第10回九州・中高生吃音者のつどい」のHPへの情報掲載依頼あり→広報へ
- 1月4日 保健医協会より総会記念講演会・懇親会の案内あり→出席(原口)
- 1月9日 鹿児島県介護福祉課医療介護連携推進係より介護予防従事者専門研修会の依頼あり→広報
日本ST協会より「シーズ・ニーズマッチング交流会」の案内あり→広報
- 1月11日 鹿児島リハビリテーション医学研究会より後援名義使用依頼あり→承諾
- 1月11日 鹿児島市において災害時相互応援に対する情報伝達訓練あり→POS連絡協議会事務局でFAX対応(災害時における福祉避難所等の人的支援に関する協力協会)
- 1月12日 鹿児島県介護実習・普及センターより「ふれあい・いきいきサロン」介護教室の実施に伴う派遣講師推薦依頼あり→受理(當舖)
- 1月12日 九州大学社会連携特別セミナー(言語聴覚士)の開催案内あり→広報
- 1月19日 鹿児島県介護実習・普及センターより運営協議会(3月14日)への出席依頼あり→出席(竹中)
- 2月1日 原田学園より卒業式へ招待状送付あり→祝電にて対応
- 2月9日 鹿児島県介護実習・普及センターよりふれあい・いきいきサロン(3月8、9日奄美市)への講師派遣依頼あり→受理(社会局)

理事会報告

理事会報告(敬称略)平成29年4月～平成30年2月理事会分

4月

- ・地域推進リーダー研修修了証を会員へ渡す方法検討し地域局より総会で渡したい旨会員へ連絡し、なるべく総会参加を呼び掛ける。総会で渡せなかった分は、後日検討する。
- ・第11回新人教育研修について。テーマ:小児の摂食嚥下リハビリテーション～言語聴覚士の立場から～例年、実技がない研修会は他県からの参加もつのり協会ポイント取得対象の研修会に申請していたが、今回実技あり定員が少ないので県士会会員のみで実施し、ポイント取得対象研修会にもしないこととする。
- ・4月になり新入会者も増えたため、鹿児島地区新人会員へ向けて個人アドレスの登録について検討する。
- ・4月4日県PTOTST連絡協議会総会に出席(池上氏・染川氏・田場氏・原口氏)。理事の改選についてはそのまま継続となった。
- ・総会で、組織図の一部変更に関して趣旨説明及び口頭説明を行い、了承が得られたら部局員を選任していくこととする。

5月

- ・PTOTST広報会議&進路相談会:5月1日、PTOTST広報会議が実施された。
- ・鹿児島県PTOTST連絡協議会鹿児島市地域リハビリ支援事業関係で6月以降、STではお達者クラブ25箇所での講演会を担当する。できる限り鹿児島市で勤務しているSTに講演を依頼していくが、場合によっては市外のSTへ依頼することもある。
- ・鹿児島摂食嚥下リハビリテーション研究会の事務局から今年度STが鹿児島摂食嚥下リハビリテーション研究会を担当する。

6月

- ・介護実習・普及センターより「ふれあい・いきいきサロン」への派遣講師について
 - ①謝礼の流れは介護教室と異なりセンターから支払われる
 - ②講師の資質をどう確保しているか問い合わせがあった。講演時間を守らない事例があったとのこと。STの事例ではなかったが、今後資質の確保について対策が必要。
- ・日本語聴覚士協会より地域リハ活動支援の手順書(修正済み)送付あり、会長、副会長、事務局長、幹事で対応することとする。
- ・会長会議報告
 - ①医療保険アンケートの調査報告あり→アンケートの集計が診療報酬改定につながることを県士会員へ周知していく
 - ②介護保険部より、地域包括ケア・介護予防リーダー研修会修了書発行数について報告あり→本年度よりDVD研修が義務付けられており、研修会を受講しただけでは修了書は発行されない。7～8月にはDVDが届くため今後対応について検討が必要
- ・5月19・20日、訪問リハ地域リーダー研修会への出席報告→訪問リハの動向は厳しいのが現状。東北の方の訪問リハステーションはうまく運用している
- ・本年度の活動：実務者研修会を10月7・8日に鹿児島県民交流センターにて開催予定→年々参加者が減少傾向。STの参加者が少ないので参加を促していきたい。今年度より研修会の案内は郵送されないのもメールでの連絡になる
- ・POS連絡協議会の地域リハビリテーション支援事業としてSTは25コマ任されている。11箇所マッチングをした。配置は7人しかいない。理事の負担にならないよう進めていく。
- ・県士会へ新規入会手続きをした会員から、登録の処理がなされたかどうか問い合わせがあることがある。新規入会希望の方は理事会承認後に会員登録されることを知らない。入会には理事会の承認が必要でその後事務局から連絡がいくことをHPに掲載する方向で検討する

7月

- ・(一社)鹿児島県介護福祉士会より、第21回介護福祉士会九州ブロック大会inかごしま開催にかかる名義後援依頼・協賛広告のお願いあり
 - 名義後援依頼については承諾。協賛広告については、今まで士会に対して協賛広告の依頼はないが同じ鹿児島県の士会からの依頼なので承諾。
- ・失語症者意思疎通支援者養成について原口氏に依頼。今後講師ができる人を増やしていく。平成30年度以降も各県士会から1名ずつとなっている。
- ・この事業について県へ予算に入れる要望書を提出することとする。

8月

- ・部会について、今月の理事会にて承認されたらメンバーへ連絡する。
- ・年会費の引き落としが出来なかった方で、連絡がつかなかった方(確実に異動している方)が→この3名の対応：次回理事会までに連絡がなければ、退会扱いとする。
- ・離島での生涯学習基礎講座開催の検討について→離島の方が基礎講座を受けれていない現状あり。今後、離島での講演を企画し来年度の事業案に出していく。
- ・定款の公開について→規定を見直し公開予定していく。
- ・8月10日にPOS連絡協議会事務局のPT・OTの災害対策の代表と、鹿児島市役所で「災害時における福祉避難所等の人的支援に関する協力協定」の話し合いに参加→災害の人的支援のチームはDrは含まれないので、あくまでも予防や体操を主軸とした福祉支援を提供するものとなっている。対象者は入院・入所にも至らない方となった。

9月

- ・HP上から研修会への参加登録を行うフォームへ変更可能か業者と調整(HPのリニューアル・スマホ対応変更)については進めていくこととする。

JDDネットワークかごしま2017についての検討をおこなった

- ・会費未納者についてに検討をおこなった
- ・会員自身の入院お見舞いについて、規定はないが、県士会からはお見舞い金を出さないことにする。
- ・鹿児島市健康まつりは、今回より介護予防推進リーダー研修会に参加するにあたり健康まつりの参加も受講要件の一つに含まれているため、ホームページへ掲載を行う。人数が集まらない場合例年通り個人的に声を掛けていくこととする。
- ・今後よかよか元気クラブでの講話もいくつか依頼される予定であり今年度は理事、又は理事歴任者を中心に講師を依頼していくこととする。

10月

- ・県士会主催の講習会・研修会の垂幕作成は基本的に総会時の学術集会の時のみ作成する。
- ・マイナンバーについては、フォーマットがあるので学術内で共有していく。(事前にマイナンバーのコピー、免許書のコピーを当日持参してもらう旨の案内文と持参用封筒を送付する)

11月

- ・失語症者意思疎通支援者養成事業について第1回・鹿児島県障害福祉課との意見交換を行い、今後は県内の失語症者数の把握が必要。県「市町村がこの事業を利用したいか確認する。講師養成を2年、その後平成32年ごろスタートできれば」とのこと。
- ・失語症意思疎通支援者養成について、来年度は2名推薦。10月に決定する。

12月

- ・鹿児島県PT・OT・ST連絡協議会三役会議について(池上、原口参加)
- 事業と役割の再確認特に大島地区でのリーダー研修について検討した
- ・池上会長が12月5日に代表理事の辞任届提出に伴い代表理事選定、全会一致をもって原口氏に決定
 - ・現在災害対策部員4名の中で2名がアドバンスコースまで受講済み。短期目標→部員全員がアドバンスコースを受講、県士会で研修を行う。中期目標→始良霧島地区でも人材を育成・長期目標→常時の整備、発災時の活動への備えとする。
 - ・会費2年間未納者について、連絡つかない人に関しては退会規定に基づき退会とする。

1月

- ・5月20日の大槻先生の研修会について検討
- ・「来年度、離島(奄美大島)の基礎講座開催について」は年1回3講座開催の方向とする。インターネットの使用については日本ST協会で検討すると回答あり。未決定であるため現時点では理事が赴き開催していく。
- ・離島の方々の意見を集計(アンケート内容は来月の理事会で内容検討)することとする。
- ・企業と県士会との付き合い方を今後理事会で検討していく。(例:県士会としてはしない。〇〇病院で勉強会を開催するため参加をしてください等)。
- ・平成27・28年度未納の方の納入状況をリストで報告、平成28・29年度未納の方については現在お知らせ郵送中、「1月末までに振込みなければ退会になります」との旨を伝える。
- ・平成30年度鹿児島市地域リハビリ活動支援事業について、講師派遣可能数としてリーダー研修終了数は市外含み10名、おたっしゃクラブST参加は25/230か所となっている。現在維持するか30か所程度にするか検討。

2月

- ・研修会参加エントリーをHPから行う調整を行っていく。
- ・次年度の奄美大島で開催に向けてアンケート文書、アンケートを作成し、配布する。奄美での基礎講座実際に開催の予算案は学術から上げることとする。
- ・離島への派遣人員に関しては離島会員の現状や、県士会としての姿勢や方針、今後の方針などの話し合いや情報提供・共有が必要。

- ・県民交流センターの駐車場は例年通り無料でよい。
- ・託児所に関して。今年も希望者がいらっしゃる場合、託児を外部の業者へお願いする。
- ・歯科との連携に関するアンケートについて。結果については、地域局より会員へ配信する。
- ・長崎大学 教授 岩永竜一郎先生講演会について(平成30年6月16日(土)・17日(日))県OT協会との共同開催を検討し、開催することとする。

*** 事務局からのお願い**

■ 定款細則の変更について(平成28年総会にて変更が承認されました)

- ①(会員に関する項)第3条において正会員は、「一般社団法人日本言語聴覚士協会に所属するもの、または、教員免許を有するもの」となっています。当県士会正会員で、未だ日本言語聴覚士協会に加入されていない方は速やかに加入の手続きをお願いします。入会手続きは日本言語聴覚士協会のHPから行えます。
- ②(会費に関する項)第6条において「鹿児島県の離島にある施設に所属する会員または鹿児島県の離島に在住している会員の会費は免除する」と変更になっています。

入退会・各種変更届について

本会を退会される場合や所属変更、改正の必要がある場合はすみやかに必要書類に記載の上、事務局に送付してください。届け用紙はHPよりダウンロードするか事務局にご連絡ください。

退会届けが提出された年度分まで年会費は請求させていただきますのでご了承ください。

加治木温泉病院 総合リハビリテーションセンター 原口友子
Tel 0995-62-0001 Fax 0995-62-3778

地域局地区(始良・霧島地区担当)

入学シーズンとなり、そこ此処に初々しい新入生の姿をみかけます。私自身も新年度が始まり、毎日があっという間に過ぎていくようです。様々な職種の中から言語聴覚士の仕事に興味を持ち、その道を志して入学してきた学生をみていると、こちらまで初心に返る思いです。さて、地域局は、鹿児島地区、始良・霧島地区、北薩地区、南薩地区、大隅地区の5つの地区に理事を設けております。前年度は北薩地区、南薩地区、大隅地区で理事の交代があり、新体制で運営を行ってまいりました。地域局の主な仕事は、会員の皆様への連絡や、生涯学習プログラム症例検討会、地区ごとの勉強会計画等の活動を行っております。また、鹿児島地区では市民健康まつりへの参加など、専門職だけではなく一般の方々に対し言語聴覚士の啓発活動も積極的に行っており、そのような意味でも会員の皆様と一番近い存在であると思っておりますので、何かありましたら是非お声かけください。今後も、県士会員皆様のご意見やご要望を県士会活動に反映できる様に努めて参りたいと思っておりますので、これからもどうぞよろしくお願い致します。(地域局理事一同)

鹿児島第一医療リハビリ専門学校 言語聴覚学科 東 早代
TEL:0995-48-5551 FAX:0995-48-5553

社会局(公共事業・保険担当)

平成29年度は、公共事業として各地での介護講習会へ講師派遣などを行いました。診療報酬に関する問い合わせは1件でした。平成30年度は診療報酬介護報酬同時改定もあり、不明な点も増加することが考えられます。診療報酬・介護報酬に関しましては、複雑な内容の問い合わせの場合、安易に答えられないため日本言語聴覚士協会に問い合わせてもらうこととなりますが、疑問を持たれた点を県士会全体で共有するためにも、まずは気軽に県士会に問い合わせさせていただきたいと考えております。

日本言語聴覚士協会お問合せフォーム：<http://www.jaslht.or.jp/form.html>

垂水市立医療センター垂水中央病院 リハビリテーション室 竹中恵太
Tel 0994-32-5211 Fax 0994-32-5722

社会局(広報担当)

平成29年度も、イオン鹿児島にて、「言語聴覚の日 イベント」を8月30日に開催させていただきました。ご協力いただきました、会員の皆様、誠にありがとうございました。今後も社会局広報では様々な企画を考えてまいります。会員の皆様のご協力をお願い致します。

鹿児島医療技術専門学校 言語聴覚療法学科 小牧 祥太郎
Tel 099-261-6161 Fax 099-262-5252

学術局(成人)

成人学術局担当の坂口彩です。いつも研修会への参加、ご協力ありがとうございます。成人学術局の方では5月に北海道大学大学院保健科学研究所の大槻美佳先生にご依頼させて頂き失語症に関する研修会を企画しました。皆様のご参加をお待ちしております。また、研修会の希望等ございましたら、お気軽にお声掛けください。今年度もよろしくお願い致します。

サザン・リージョン病院 リハビリテーション部 坂口彩
TEL:0993-72-1351 FAX:0993-72-2128



学術局(小児)

<研修案内>

学術局(小児)では平成30年7月29日(日)に『JDDネットワークセミナーinかごしま2018』を企画しております。テーマは現在実行委員会で検討中です。セミナーテーマや講師等、お申し込み方法については近々ご案内させていただきます。皆様のご参加をお待ちしております。

平成29年度の総括です。去る平成29年6月4日に北里大学教授堀口利之先生に『嚥下障害と気管カニューレについて』というテーマでご講演いただきました。気管カニューレが嚥下障害に及ぼす注意点や、気管カニューレの歴史、機能・取り扱いの違い、気管切開の適応についても詳しく学ぶことができました。JDDnetかごしまの活動として平成29年12月17日に『JDDネットワークセミナーinかごしま2017』を開催し、JDDnet理事の渡辺由美子先生に『多職種連携の最前線』というテーマで多職種の紹介を行っていただきました。また、JDDnet多職種連携委員会の酒井康年先生からは事例を通じた多職種連携の実際についてお話していただきました。シンポジウムでは鹿児島での言語聴覚士を含めた多職種の実際の活動内容の紹介や事例に対するできること、できないことを知り連携のきっかけとしていく機会となりました。今後も、子どもに関係する講習会の案内や企画、会員同士の交流機会を実施できていけたらと考えております。皆様のご協力をお願いいたします。

やまびこ医療福祉センター リハビリテーション部 西野 将太
Tel 099-238-2755 Fax 099-238-5134

学術局(新人教育)

平成29年度の新人教育研修会は、1回目として9月に「小児の摂食嚥下リハビリテーション」(講師:菊野病院 池上敏幸ST)を開催いたしました。実技を含んでおり、参加者の理解・内容の充実を目的として、新人教育研修としては初めて定員を定めての開催となりました。定員を超える申し込みをいただき、当日は長年小児の臨床に携わっておられる池上STの手技を見せていただき、また実際に指導をいただきながら体験し、充実した時間となりました。2回目は1月に「Dysarthriaの臨床の実際」(講師:鹿児島医療技術専門学校 小牧祥太郎ST)を開催いたしました。鹿児島医療技術専門学校の専任教員でいらっしゃる小牧STから、学校で学んだ基礎的な知識を臨床の場でどう結び付け、活かしていくかという内容を動画等も用いながらわかりやすく講義していただきました。私自身は今年度より学術局新人教育担当理事を務めさせていただくこととなり、周囲の理事のご助言やご指導をいただきながら、無事に2回の研修会を実施することができました。今後も、鹿児島の若手STの「育成」につながるような研修を企画していきたいと思っております。「こういうことが学びたい・興味がある」といったご意見ございましたら、ぜひぜひお聞かせください!!! よろしく願いいたします。

米盛病院 石原 禎人
Tel 0992-30-0100 Fax 0992-30-0101

学術局(生涯学習)

平成29年9月と平成30年1月に基礎講座を開催しました。多くの会員が参加し、日常の臨床業務におけるリスク管理や研究方法など、あらためて気づかされる内容も多かったと思います。休憩時間では旧友や恩師との再会で会話も弾み、各施設間との情報共有の場にもなりました。平成29年11月には愛媛大学の山下光先生にお越しいただき、「高次脳機能障害の評価ー研究と臨床の間でー」というテーマにてご講演して頂きました。研究方法や学会発表までの流れ、練習効果と検査の信頼性について丁寧に説明して頂き、これまでの経験から検査結果の解釈や研究の重要性など貴重なお話を聴く事ができました。

生涯学習担当になり、もうすぐ1年になりますが、不慣れな点も多く、会員の皆様に協力を得られて無事に基礎・専門講座が開催出来ました。基礎講座では日本言語聴覚士協会に入会していない方がおり、受講出来ないケースもありました。入会されていない方はお早めに手続きをお願いします。

公益社団法人鹿児島共済会 南風病院 医療技術部 リハビリテーション科 樋渡 健太郎
TEL:099-226-9111 FAX:099-805-2509

財務局

会員各位。平素より大変お世話になっております。

会費納入にもご協力頂きましてありがとうございます。今年度の会費を納めておられない会員の方は納入をよろしく願いいたします。また、まだ口座登録がお済みでない会員の方はできるだけ口座登録をしていただけますようによろしく願いいたします。

いづろ今村病院 リハビリ室 下舞美和
TEL(099)226-2600 FAX(099)225-5181 kago_st@yahoo.co.jp

ご不明な点は上記まで連絡いただけますと幸いです。よろしく願いいたします。

いづろ今村病院 リハビリ室 下舞美和

編集男紙



2017年度、そして平成も終わろうとしてますが、皆様はどのようにお過ごしでしょうか？私は社会人になってから早3年が過ぎようとしており、焦燥感に駆られております(汗)さて私事ではございますが、先日院内のゴルフ愛好家の方々と第3回コメディカル杯を挙行致しました！初春の感じられる良天のなか、和気藹々とラウンドし、他職種交流もできる充実した休暇となりました。結果は散々でしたが(笑)いつか他院の先生方ともラウンドしてみたいと思っています。2018年度もゴルフ・バレー・仕事に精進していきます。末筆ながら、来年度からの皆様のご活躍をお祈り申し上げます。(吉岡)